



すみつけ祭り

SUMI SPREADING FESTIVAL

原 京一 KYOICHI HARA

Department of Photography

1

この祭りは、ご神体と供物箱と墨つけの人びとから成る数十人の集団が、半日以上もかけて町の家々をていねいに歩いて回るというユニークなものである。

この集団が太鼓の音と共に、一斉にドドドッと家に走り込むさまはすごい。あまりの出来ごとに、犬は吠えることも忘れてブルブル震えるばかり。そして逃げまどう家人の顔に、ダイコンの輪切りにつけた墨をつけるのである。まさに乱入の感じで、入る方も入られる方もドキドキの一瞬である。

「この家には若い娘がいるゾー」。ドドドッ。「おかしいな、玄関には女の履物がたくさんあるのに」。出てくるのは、代表のあきらめ顔のおかあさんばかり。むろん真っ黒に墨を塗られる。「美人になったゾー」。負けずに「惚れたかァ」のひとことが返る。

群馬県玉村町













